

「教育目標：心豊かに自ら生き抜く、心身ともにたくましい生徒の育成」

平成27年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成27年6月19日(金)発行 第 12 号 発行責任者:高橋 弘悦

先生方も頑張ります！

「先行学習」授業研究会

6月12日、本校で「先行学習」授業研究会を行いました。

我々教師は、授業で学習した内容は、家で復習してしっかり身につけてほしいという願いをもっています。いわば復習中心の指導です。一方で、予習の有効性についても十分認識し、予習を活かした授業をしたいとの願いも持っています。



今回の授業研究会は、こうした問題意識のもと、子どもたちには予習の仕方と授業規律の確立、我々教師には、予習を活かした授業の在り方と授業改善、という2つのねらいを持たせて実施した研究会です。

講師は、全国各地で「先行学習」を提唱され、飛び込みで授業をされている授業インストラクター 鏑木 良夫 先生…。8時間かけておいでいただいたにもかかわらず、社会、国語、数学と3教科の飛び込み授業、そして2時間にわたるご講演をいただきました。

社会と国語は、1、2年生も教室に入り、3年生と共に授業に参加し、内容のみならず、授業への臨み方、授業規律についてじっくりとご指導いただきました。初対面の先生ながら、生徒たちはいつの間にか、いつも以上に集中…。「頭が三角になった…」というつぶやきに、授業が有効だったことがうかがえました。

我々教師も、この研究会で得たことを日々の授業に活かし、授業改善に努めて参ります。



8名の生徒に40人の参観者



1、2年生も頑張ります

授業に臨むポイント

鍋木先生の授業は、これまで行われてきた授業の流し方とは異なる授業です。そのため、学習者（生徒）にも求められることがあります。次のようなことがポイントとしてあげられていますので、今後学習を進めるに当たって参考に見てみてください。詳細は、実際に授業を受けた子どもたちが知っています。親子の会話の話材にしてみてください。

- 返事、姿勢
- 机の上に置くものは最小限に
- 曖昧なことは辞書で調べる。辞書引きを速く
- 「共書き」一板書と同時に書き写す
- ノートは1行空けて書く。消しゴムは使わない。
- 指示には素早く対応する。
- 音読、視写、聴写
- 教科書を視写すれば授業がわかる。予習は視写で…



初めての定期テスト…

学習会を実施しました

1学期の定期考査が、いよいよ来週月曜日に迫りました。学校では、家庭学習の仕方を身につけさせることをねらいとして、今週3回にわたって、放課後の学習会を開催しました。4月に入学し、初めての定期考査に臨む1年生も意欲的に学習に取り組んでいます。



安倍総理にひしストラップが いよいよ全国デビュー！？

30日、視察で柳津町を訪れていた安倍首相に、本校生徒が開発し、地域の方とのコラボレーションで製品化している「ひしストラップ」が、町の名産品としてプレゼントされました。

安倍首相は大変お喜びになり、「大事にします！」とっておられたとか…。総理大臣も持っている、と考えると、なんか誇らしい感じがしますね。



昨日、地域の魅力発掘の活動の一環として、齋藤清美術館学芸員の杉本明郎様をお迎えして、講演会を開催しました。詳細は次号でお知らせします。